

一般国道 57 号

中九州横断道路

大野竹田道路

1. 大野竹田道路の概要
2. 事業の効果及び必要性
 - ・ 事業を巡る社会情勢等の変化
 - ・ 事業の整備効果（費用便益効果分析）
 - ・ 事業の進捗状況
3. 事業の進捗の見込み
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性
5. 対応方針（原案）

1. 大野竹田道路の概要

(1) 中九州横断道路の概要

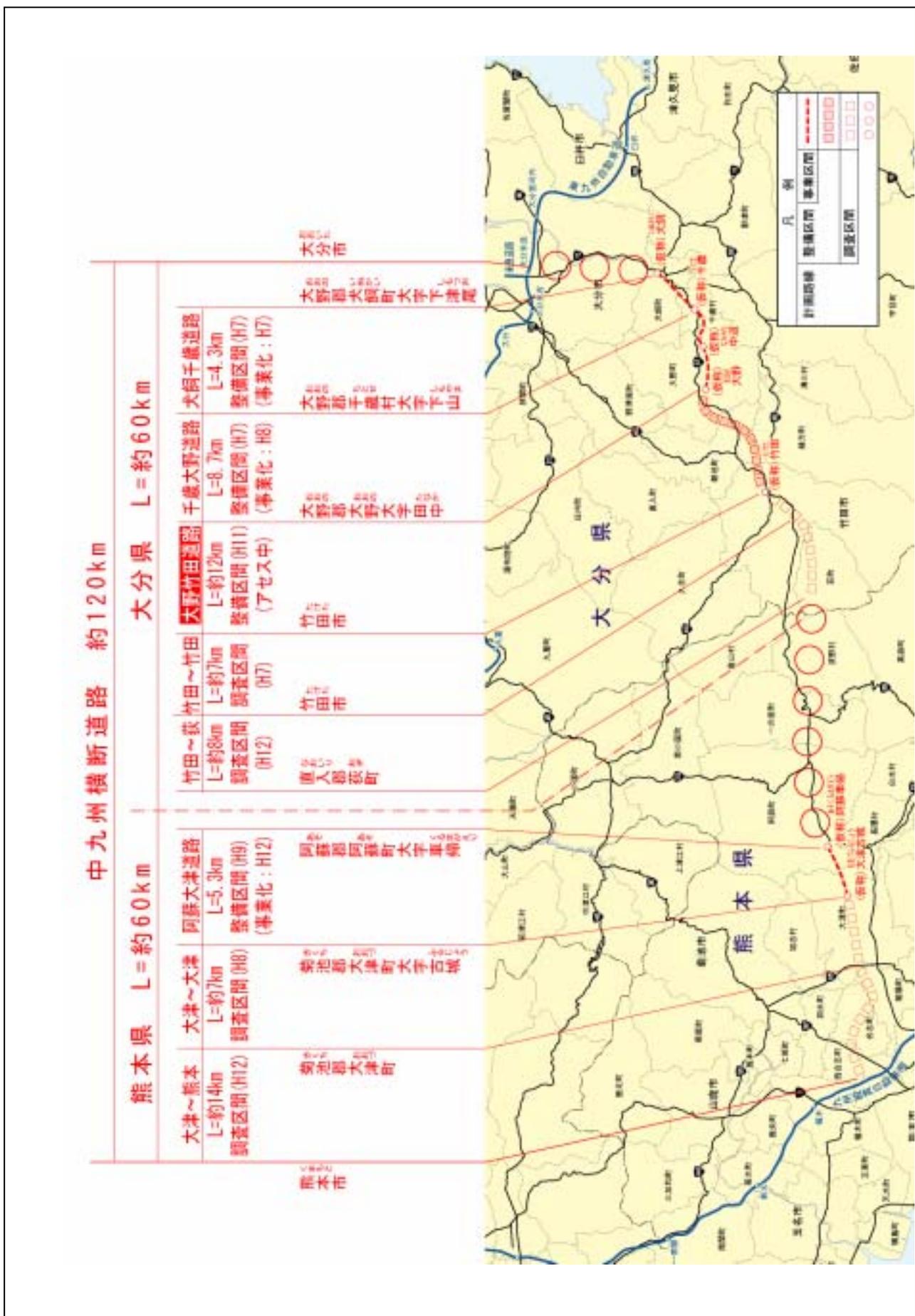
中九州横断道路は、平成6年12月に計画路線に指定された地域高規格道路で、大分市を起点として竹田市等を経由し熊本市に至る延長約120kmの自動車専用道路である。

本道路は、大分市、熊本市を中心としたそれぞれの都市圏を相互に連絡し、両県の交流を促進するとともに、沿線地域の産業発展、地域活性化に寄与することを目的とした道路である。

また、九州縦貫自動車道及び東九州自動車道と連絡されることにより、循環型ネットワークが形成され、さまざまな地域圏との交流が可能となる。



■ 中九州横断道路の位置図



■中九州横断道路路線図

(2) 大野竹田道路の概要

1) 概要

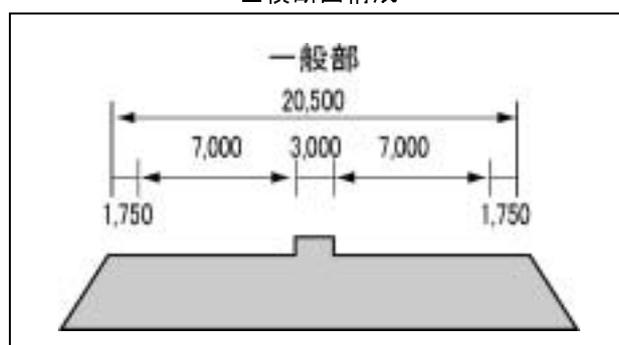
大野竹田道路は、中九州横断道路を構成する一区間であり、大分県南部の一般国道57号と平行に位置し、交通利便性の向上、地域間の連携・交流の支援を図り、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、当該道路と平行する一般国道57号の代替機能も有する。

2) 道路諸元と横断面構成

■道路諸元

路線名	大野竹田道路
起点	おおいたけんおおのくんのまちおおあさななか 大分県大野郡大野町大字田中
終点	おおいたけんたけし 大分県竹田市
延長	L=約 12 km
幅員	W= 20.5 m
車線数	4車線
構造規格	第1種3級
設計速度	V= 80 km/h

■横断面構成



■大野竹田道路の位置

2. 事業の効果及び必要性

【事業をめぐる社会情勢等の変化】

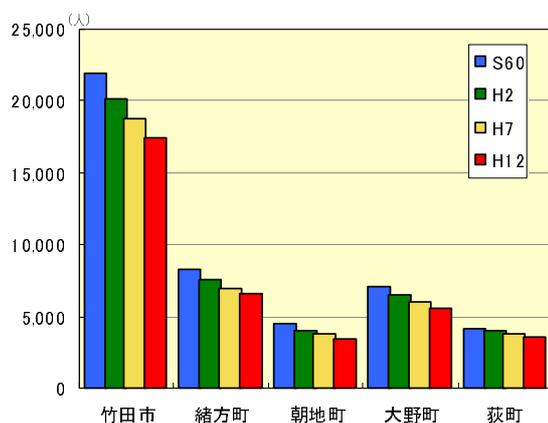
(1) 対象地域の概況

a. 人口の推移

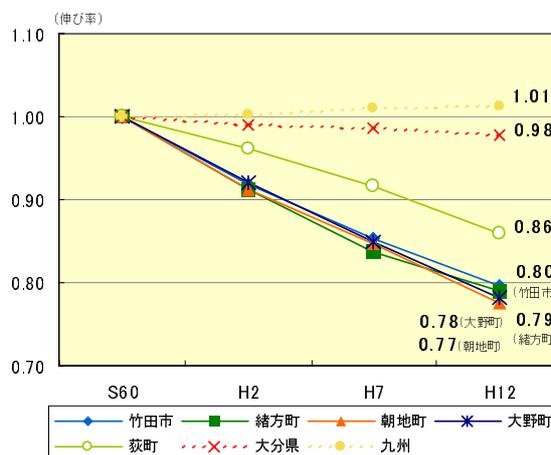
大野竹田道路沿線の5市町村（竹田市、朝地町、大野町、緒方町、荻町）ともに人口は減少しており、特に荻町以外の4市町村では昭和60年から平成12年にかけて約2割減少している。

また、高齢化率は5市町村ともに県平均に比べ約10%ほど高く、65歳以上が30%以上を占めるなど、高齢化の進展が著しい。

～ 人口 ～



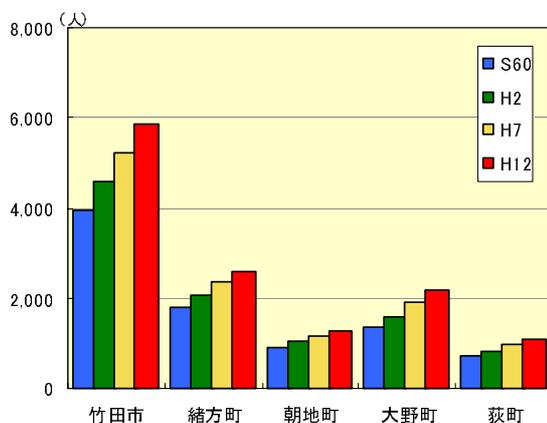
■沿線地域の人口の推移



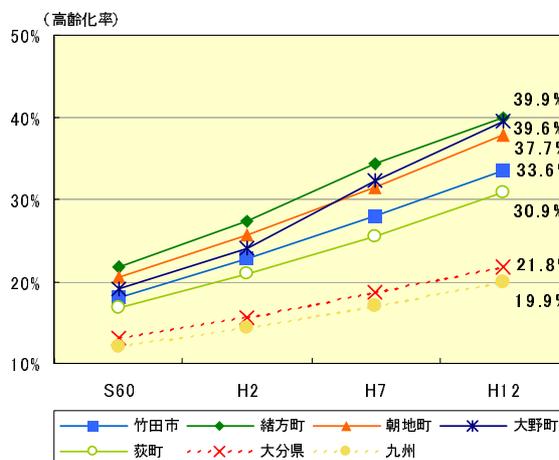
■沿線地域の人口の伸び率 (対S60)

(資料: 国勢調査)

～ 高齢者 ～



■沿線地域の高齢者人口の推移



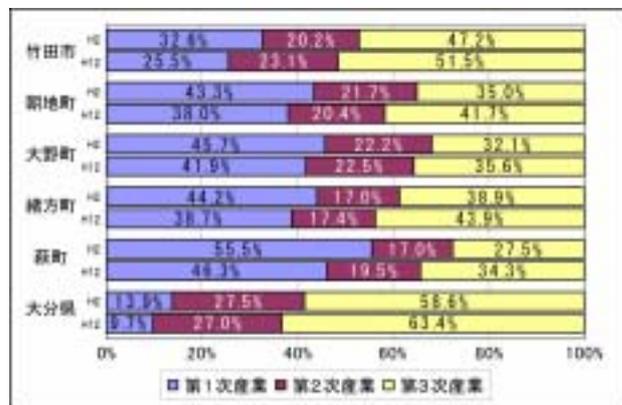
■沿線地域の高齢化率の推移

(資料: 国勢調査)

b. 産業

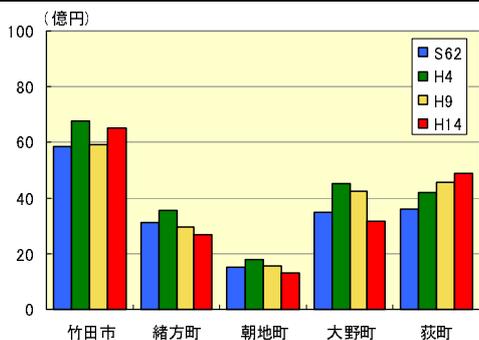
沿線地域の5市町村とも第3次産業へのシフトが進んでいるものの、依然として第1次産業への就業者が多く、県平均に比べ約3～5倍程度を占めており地域の基幹産業となっている。

また、沿線地域では竹田市、荻町の農業粗生産額の伸び、朝地町、荻町の商品販売額の伸びが、大分県平均を上回っている以外は、各産業の生産額は低迷している。

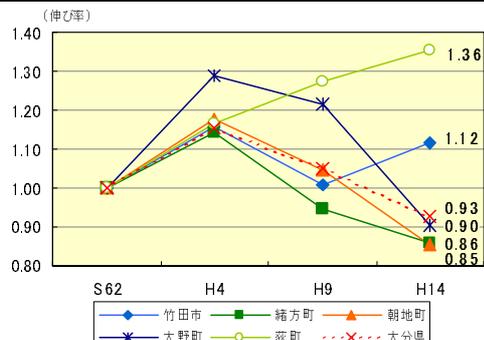


産業別就業人口 (資料:国勢調査)

～ 農業 ～



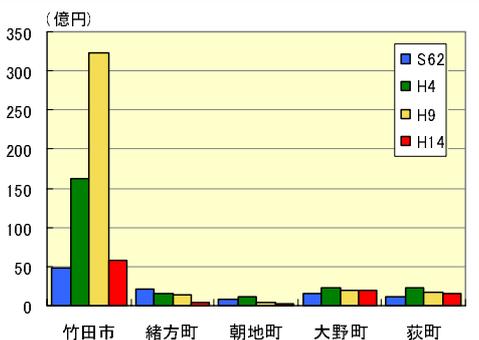
沿線地域の農業粗生産額の推移



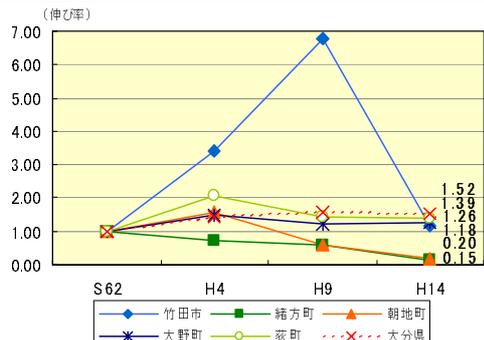
農業粗生産額の伸び (対S62)

(資料:生産農業所得統計)

～ 工業 ～



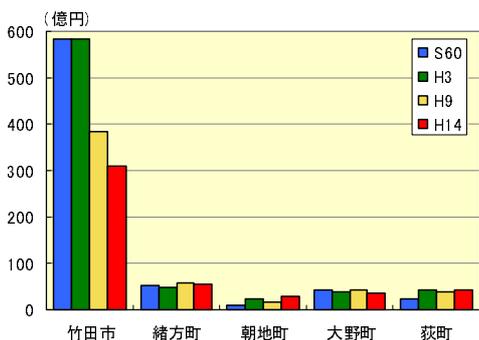
沿線地域の製造品出荷額の推移



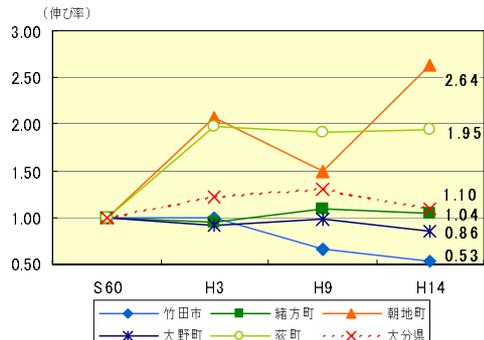
製造品出荷額の伸び (対S62)

(資料:工業統計表)

～ 商業 ～



沿線地域の年間商品販売額の推移

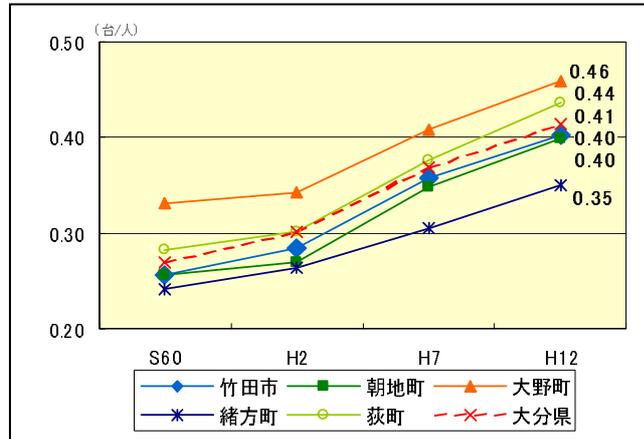


年間商品販売額の伸び (対S60)

c. 自動車保有台数

自動車保有率は県平均と同様に増加傾向にあり、5市町村とも自動車への依存は年々高くなっている。

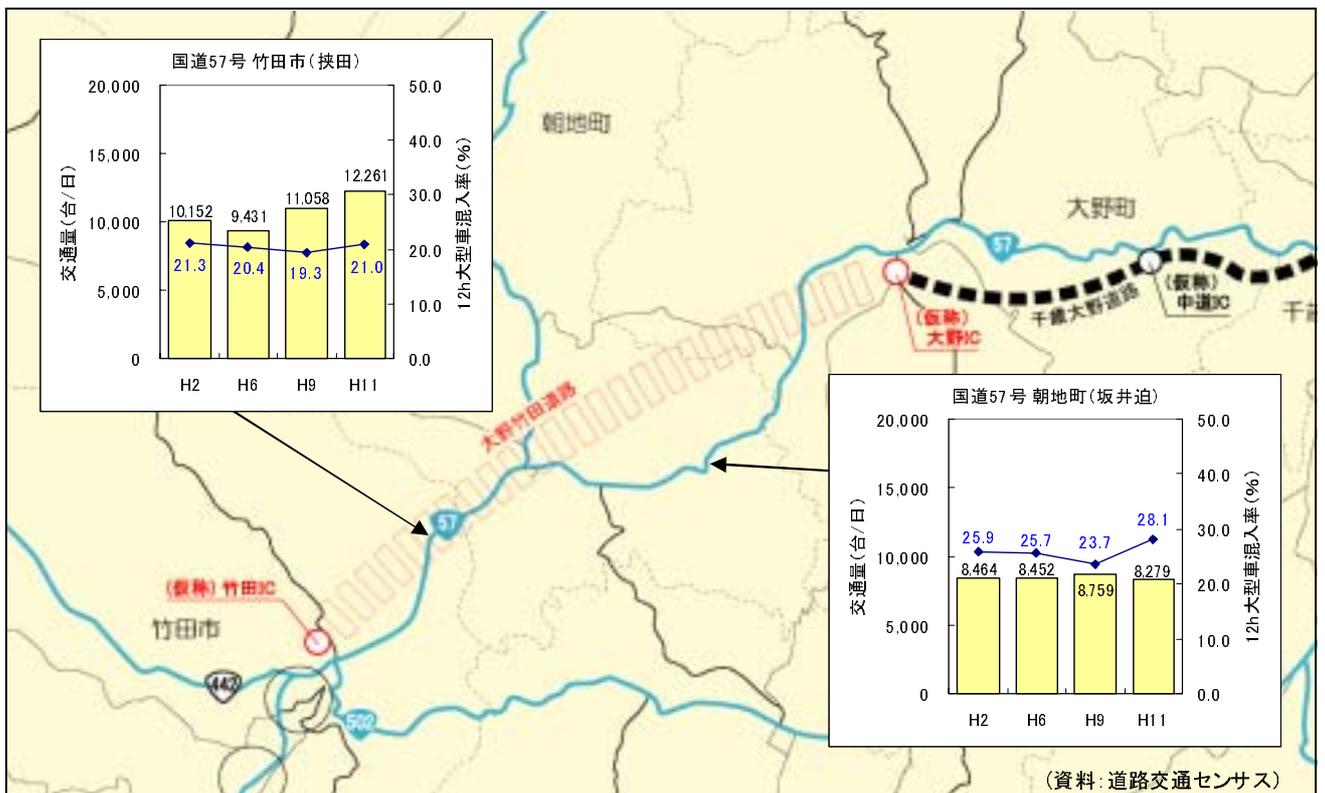
■自動車保有率



(資料: 国勢調査、九州各県市町村別・車種別保有車輛数統計資料)

d. 交通量の推移

沿線地域の幹線道路である国道57号の竹田市では、交通量が12,300台/日であり平成2年から平成11年にかけて1.2倍の伸びを示している。



(資料: 道路交通センサス)

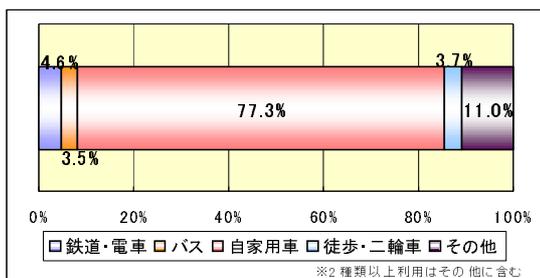
■一般国道57号の交通概況

e. 流動状況

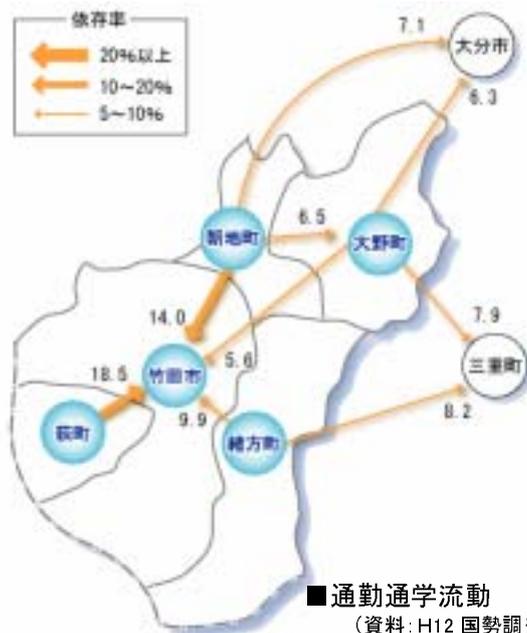
◆通勤通学流動

竹田市に就業就学の間を依存しているものの、朝地町や大野町では大分市への流動も見られる。

また、通勤・通学者の交通手段は、自家用車が約8割を占め、自動車交通に依存している。

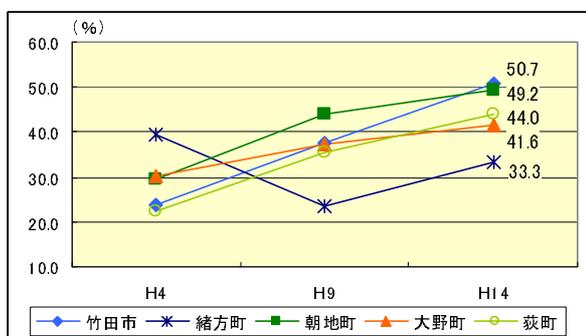


■ 通勤通学者の利用交通手段



◆買物流動

対象区間内の沿線の地域では、商業施設が集積する大分市に買物流動が集中しており、大分市への依存の傾向は年々と高まっている。



■ 大分市への流出率の推移 (買回品)

※買回品とは、スタイル、デザイン等を重視して商品の選択を行うものであり、消費者が気に入ったものが見つかるまで探すことが多い商品。(衣類や装身具等)



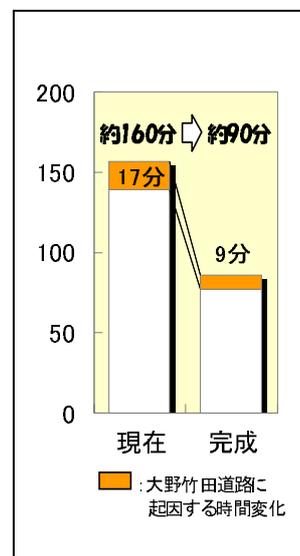
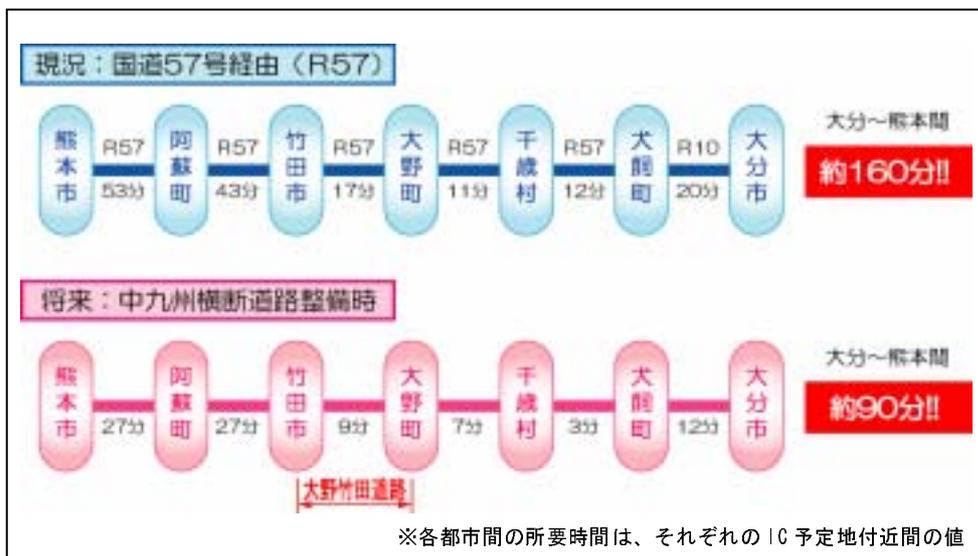
(2) 事業の必要性及び効果

効果1：地域間の交流連携の支援

中九州横断道路が大分～熊本まで供用されれば、国道57号等を利用し、現在約160分かかっている大分～熊本間が、中九州横断道路を利用することにより、約90分に短縮される。(大野竹田道路区間は17分から9分に短縮)

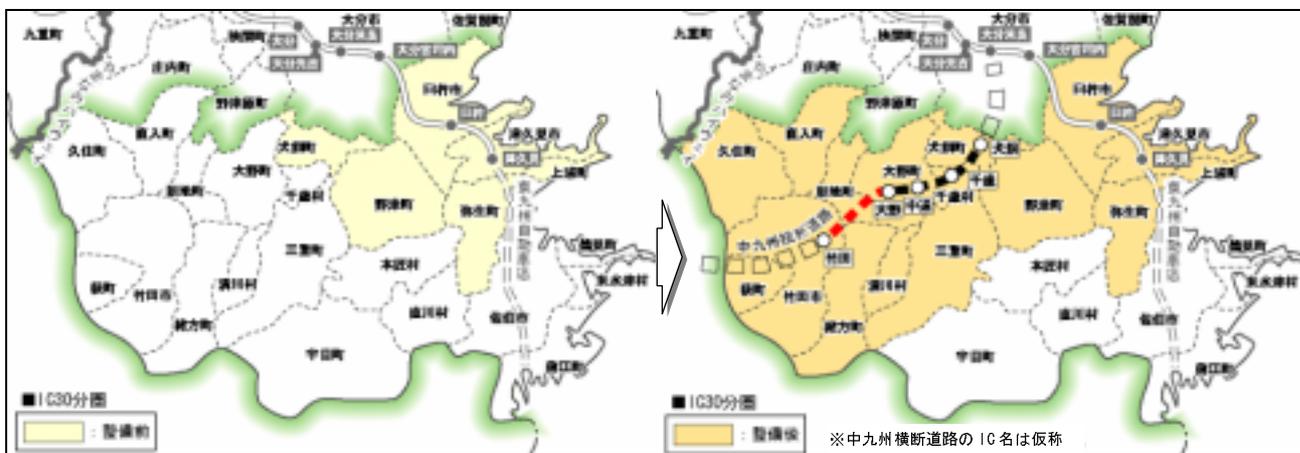
これにより、県都である大分市や東九州自動車道までの時間距離が短縮され、産業・経済の発展、観光の振興に寄与するとともに、最寄りICまで30分圏が拡大し、行動圏域の拡大が図られる。

大野竹田道路は中九州横断道路の一部区間を形成し、地域間の交流連携を支援する。

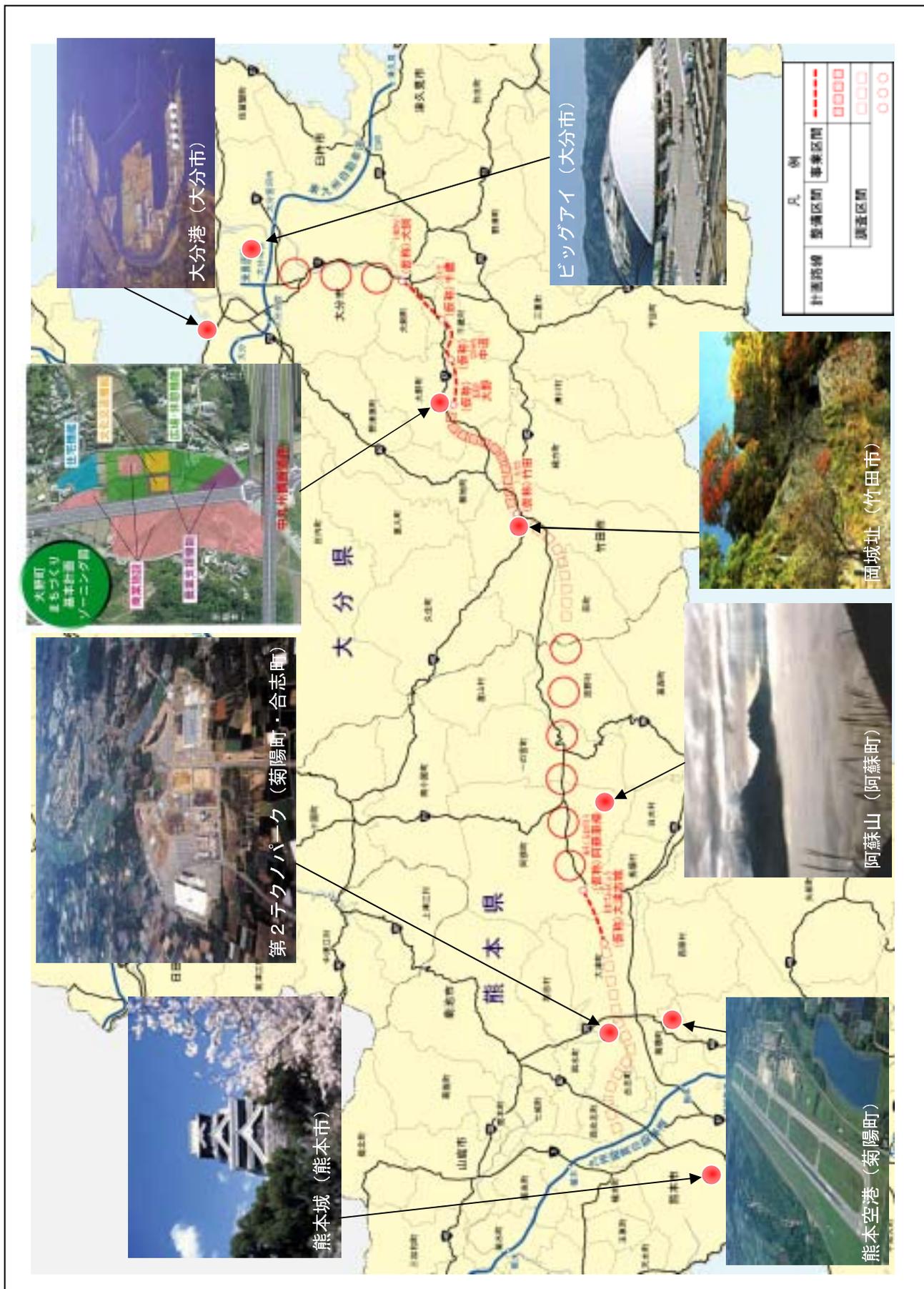


■ 中九州横断道路の整備による時間短縮 (全線供用時)

■ 大分～熊本間の所要時間



■ IC30分圏の拡大 (全線供用時)



■ 中九州横断道路沿線の主要施設及びプロジェクト

効果 2 : 観光ネットワークの強化

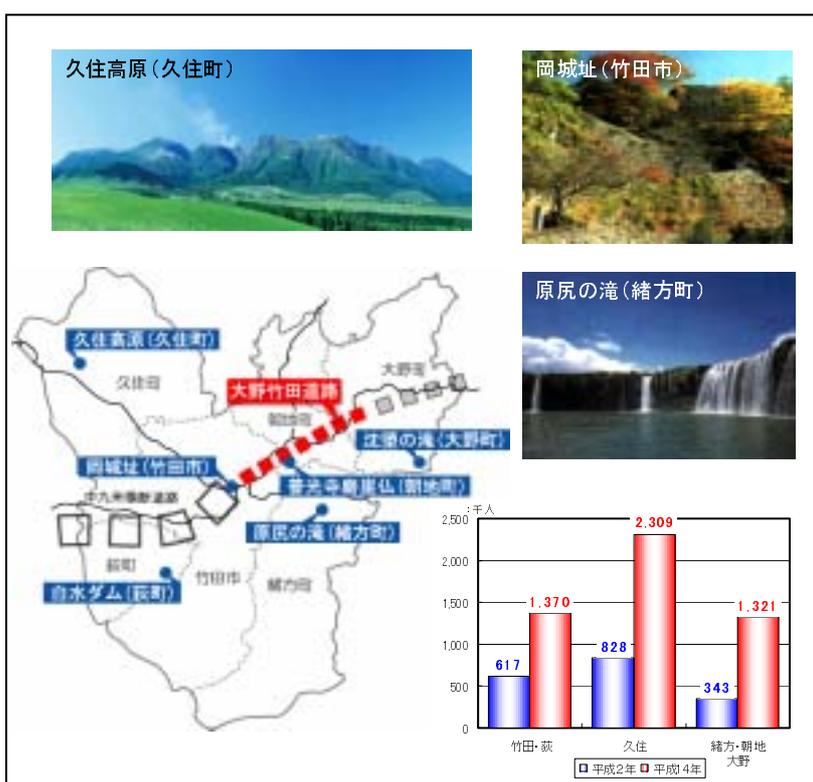
中九州横断道路が整備されることで、阿蘇、別府等の九州を代表する観光地間のネットワークが強化される。大野竹田道路は、その一部区間を形成し広域観光ネットワークの強化に寄与する。

また、大野竹田道路沿線地域においても、自然資源や歴史資源等を生かした観光資源に恵まれており、大野竹田道路が整備されることで、大分市などの主要都市からのアクセス向上や、阿蘇等の観光地とのネットワーク強化が図られるなど、地域の観光振興に寄与する。



■ 主要観光地の観光客数 (H14)

資料：大分県観光動態調査、熊本県観光統計表、宮崎県観光動向調査



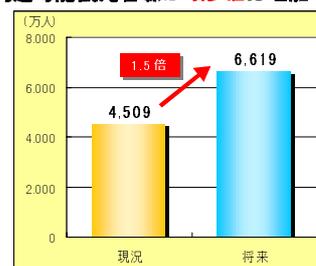
■ 沿線地域の主な観光地と観光客数

主要都市からのアクセス向上により誘致可能人口が 1.2 倍に増加



▲ 観光誘致可能人口の増加(竹田市)

周辺観光地からのアクセス向上により周遊可能観光客数が 1.5 倍に増加



▲ 周遊可能観光客数の増加(竹田市)

■ 大野竹田道路の整備効果(観光)

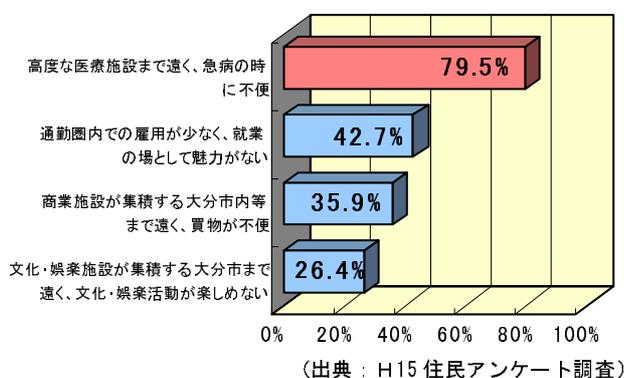
効果3：医療活動の支援

◆日常医療の支援

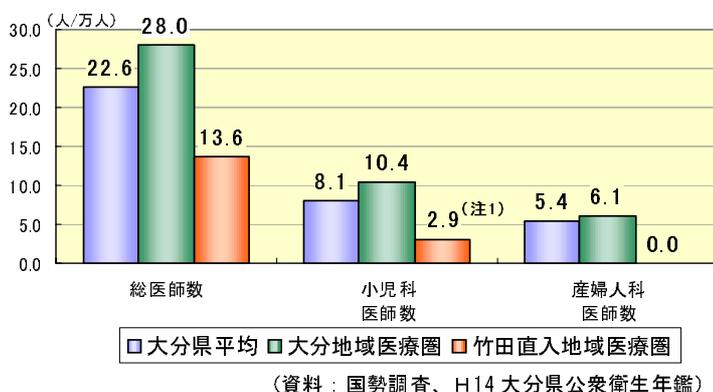
中九州横断道路沿線の竹田直入地域では、小児科や産婦人科を有する病院が少ない（産婦人科専門医ゼロ）など、医療サービスが低く、当該地域に住み続ける上での大きな課題となっている。

大野竹田道路の整備により、大分市内の医療施設までの所要時間が短縮することで、医療施設への選択肢が増加し、より高度な医療サービスが受けられるなど、地域の医療サービス水準の向上に寄与する。

■地域住民の生活上の不便な点（竹田市）

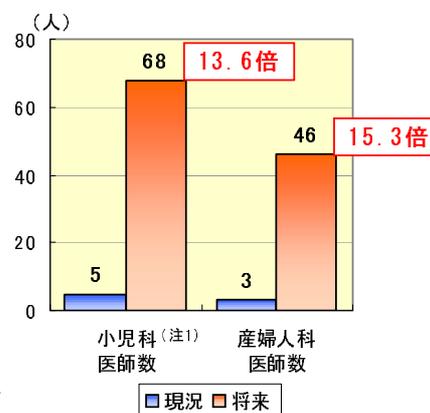


■二次医療圏別人口1万人当たりの医師数



注1) 竹田医師会病院に、H16.6 から派遣される小児科医師1名を加えて算出している。

■40分圏の拡大による小児・産婦人科医師数の増加

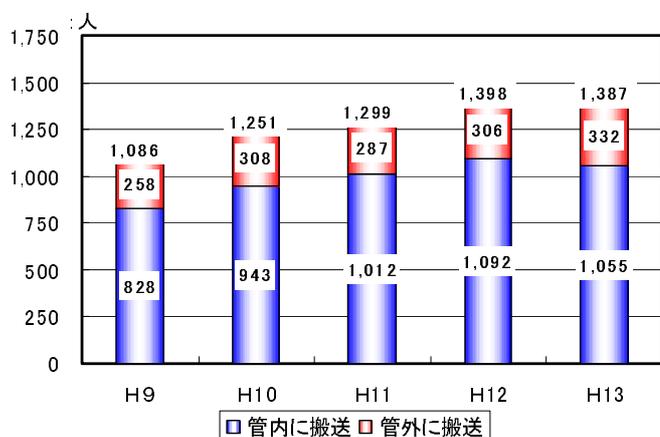


◆救急医療活動の支援

高い水準で高齢化が進行している竹田広域消防署管内では、救急搬送人員の増加に伴い、高次医療施設が整った大分市等の管外への搬送も増加傾向にあるが、竹田市から大分市の第三次救急医療施設までは、カーブが多い国道 57 号を經由して 60 分以上かかるなど、救急医療活動において不安を抱えている。

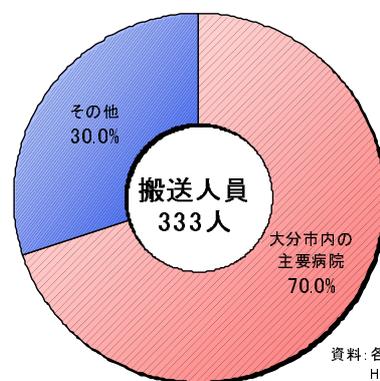
大野竹田道路の整備により、走行性の向上、搬送時間の短縮が図られ、高齢化率が高い沿線地域において、安心できる暮らしの提供に寄与する。

■ 竹田広域消防署の救急搬送人員の推移



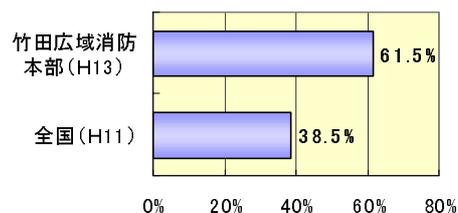
※竹田広域消防署の管轄
竹田市、緒方町、朝地町、荻町、久住町、直入町

■ 竹田広域消防署管内からの管外搬送先病院



資料:各消防署データ H13(1年間)

■ 平成 13 年度高齢者(65 歳以上)の搬送割合



■ 第 3 次医療施設 (大分市) までの所要時間
※将来は、中九州横断道路が全線供用の場合

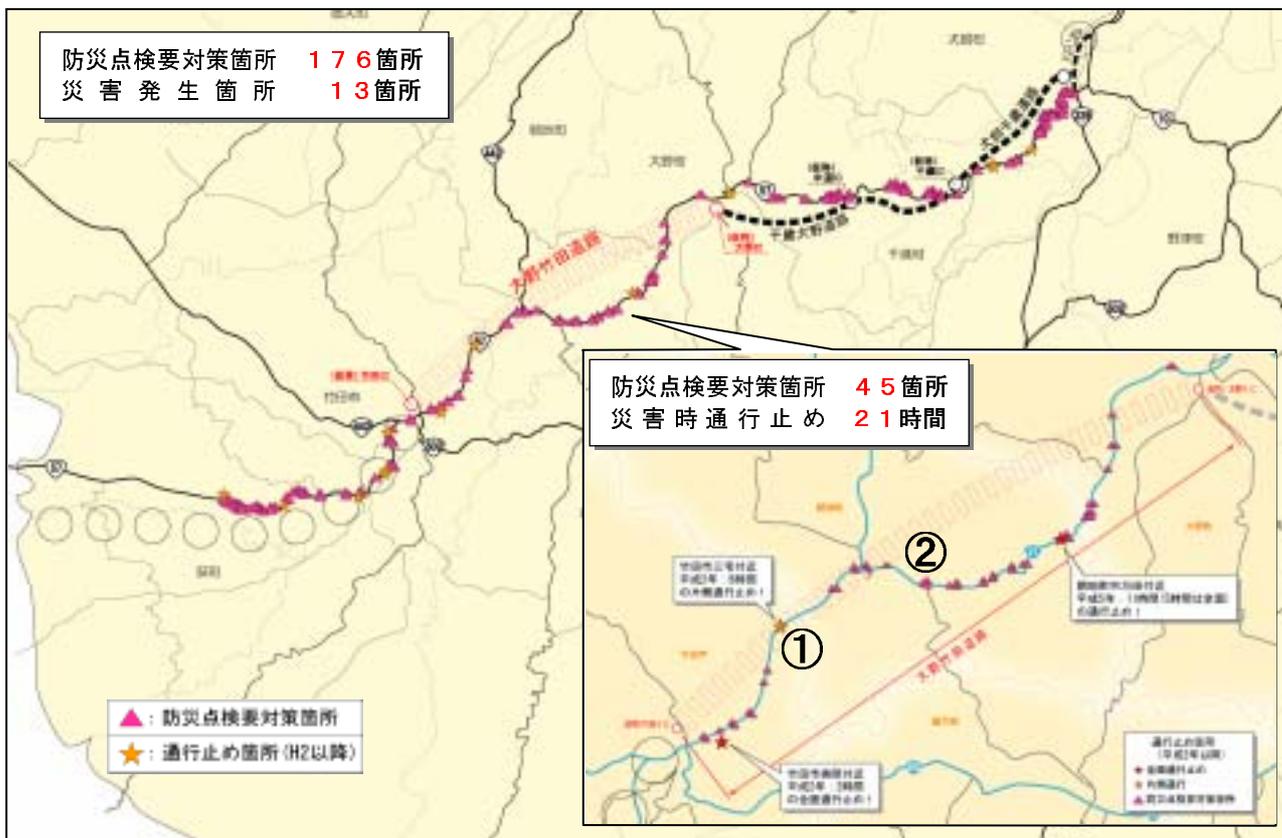
搬送時間の短縮により、救命率が 5%から 25%に向上! (多量出血)

■ 第 3 次救急医療施設までの搬送時間と救命率の向上(竹田市)
(資料: カーラーの救命曲線 「NHKスペシャル 西ドイツ・死者半減日本放送出版協会」より)

効果 5 : 防災機能の向上

国道 57 号は、竹田直入地域と大分市を結ぶ幹線道路であるが、急峻な地形上を通過するため災害も多く、大野竹田道路に並行する区間においては、平成 2 年以降延べ 21 時間の通行止めが発生しているとともに、防災点検要対策箇所も多いなど、災害に脆弱な地域となっている。

大野竹田道路が整備されることで、国道 57 号の代替機能を有する道路ネットワークが形成され、地域の防災性の向上に寄与する。



■ 国道 57 号の通行止め箇所、防災点検要対策箇所

写真① 国道 57 号の通行止め時の状況



(平成 2 年 7 月 2 日竹田市三宅)

写真② 国道 57 号の防災点検要対策箇所の状況



(朝地町大字坂井迫 25k370 付近)

効果6：安全性の向上

急峻な地形上を通過する国道57号には、線形不良箇所が107箇所（うち、大野竹田道路並行区間は37箇所）あり、大型車交通量も多いことから、走行性・安全性が大きく低下している。

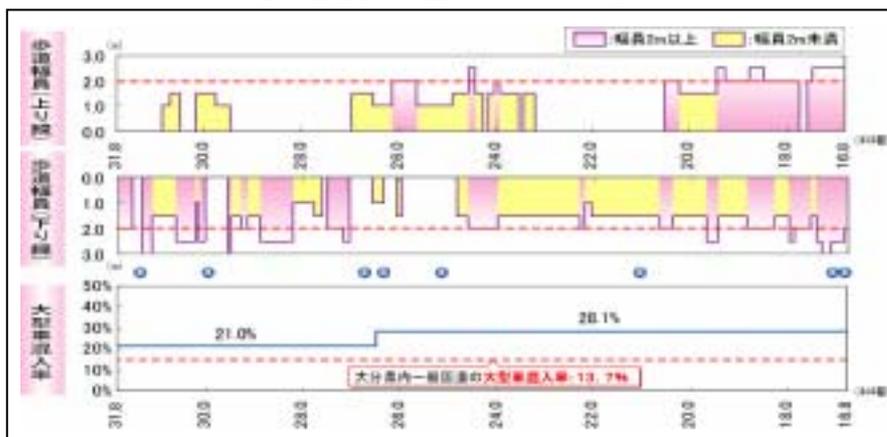
また、大型車交通量が多いのに対して歩道の整備水準は低く、歩行者の安全性も低い状況にある。

大野竹田道路の整備により、国道57号を通行する大型車等の交通量が減少し、現道の交通事故削減、歩行者の安全性向上に大きく寄与する。

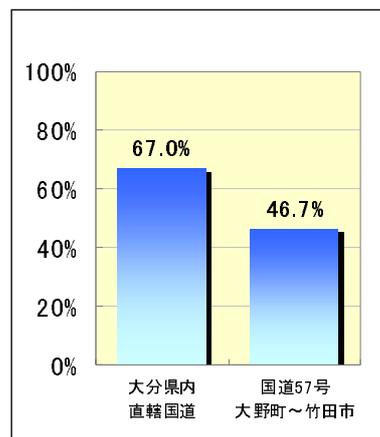


■ 国道57号の線形不良箇所

■ 歩道幅員の整備状況と大型車混入率



■ 幅員2m^{*}以上の歩道設置率



※歩道幅員2mは、道路構造令における最小幅員(再)2-16

(資料: H11 道路交通センサス

大分県庁(歩道整備)計画課(再)2-16

効果7：活力ある地域づくりの支援

◆広域交流ネットワークの形成

中九州横断道路が整備されることで、東九州自動車道や九州縦貫自動車道と一体となった高速道路ネットワークが形成されるとともに、空港（大分空港、熊本空港）や港湾（大分港、別府港等）といった広域交通拠点へのアクセス向上が図られる。

大野竹田道路は中九州横断道路の一部区間を形成し、広域交流ネットワークの形成に寄与するとともに、物流効率化や広域交流を支援する。



■ 広域交流施設の分布



■ 大分港

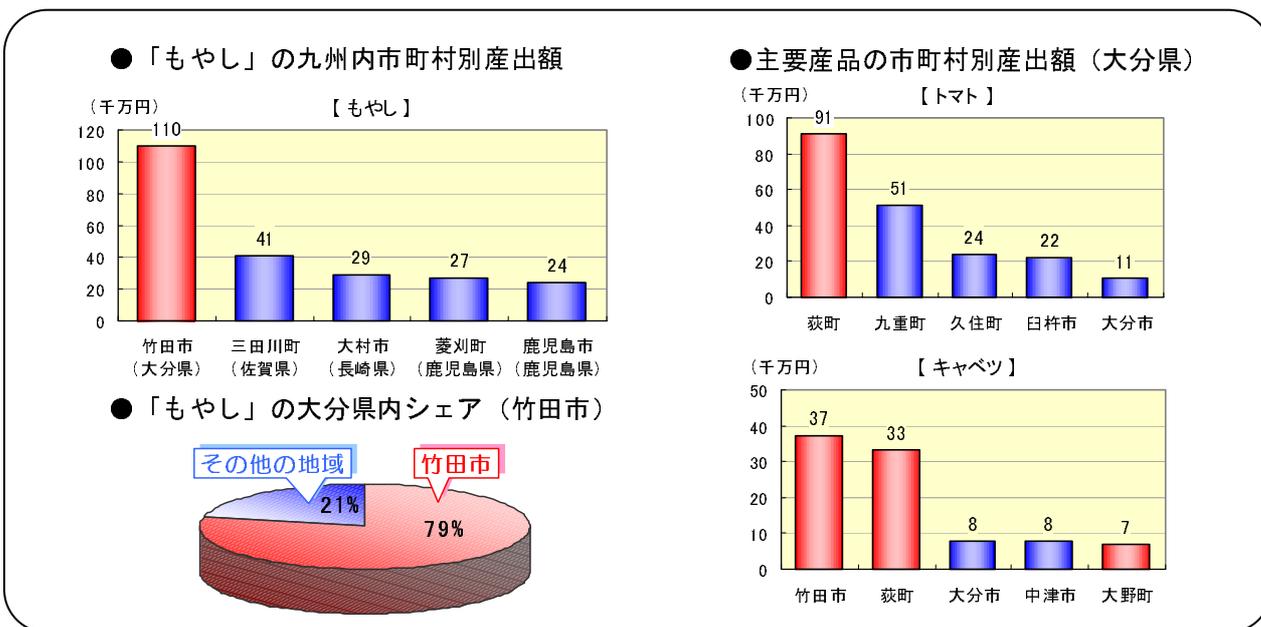


■ 熊本空港

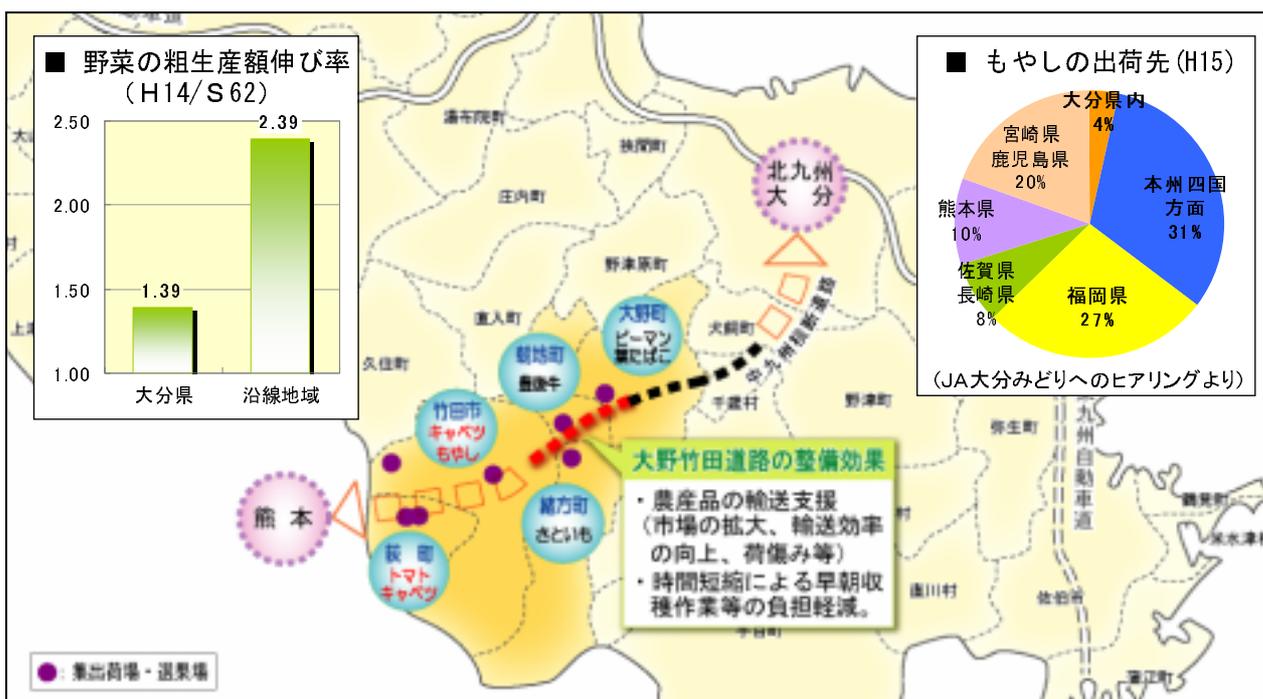
◆地域産業の支援

大野竹田道路沿線地域は農業が盛んな地域で、特に竹田市のもやしは九州第1位、竹田市のキャベツや荻町のトマト等は県内第1位の産出額を誇っている。

大野竹田道路の整備により、大分市や北九州方面の市場までの時間短縮が図られ、市場の拡大、荷傷みの減少、鮮度の向上等の効果が期待されるなど、地域農業の振興を支援する。



■主な農業特産品の産出額とシェア (資料:生産農業所得統計 大分県目で見えるアグリランキング 2002)



■大野竹田道路の整備効果 (農業) (資料:大分県農林水産統計年報)

大野竹田道路の整備効果のまとめ

大野竹田道路は、

- ・ 「広域観光ネットワークの強化や沿線地域の観光振興を支援」
- ・ 「医療サービスの向上に寄与し、安心できる暮らしの実現に貢献」

等の効果が特に期待される事業である。

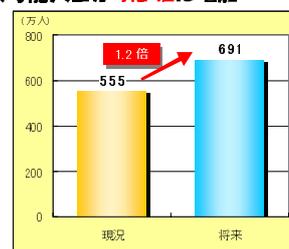
◆観光ネットワークの強化

大野竹田道路は、中九州横断道路の一部区間として広域観光ネットワークの強化に寄与するとともに、大野竹田道路沿線地域においても、主要都市からのアクセス向上や阿蘇等の観光地とのネットワーク強化が図られ、地域の観光振興に寄与する。



■ 主要観光地の観光客数（H14）

▲ 主要都市からのアクセス向上により誘致可能人口が1.2倍に増加



▲ 観光誘致可能人口の増加（竹田市）

▲ 周辺観光地からのアクセス向上により周辺可能観光客数が1.5倍に増加



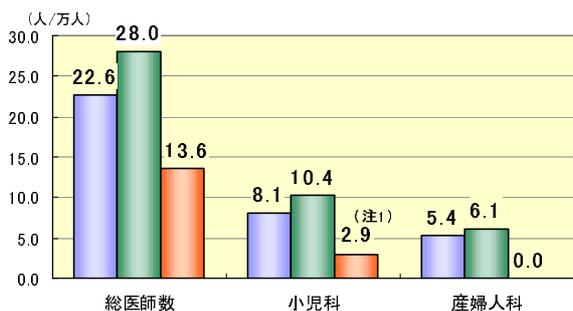
▲ 周辺可能観光客数の増加（竹田市）

■ 大野竹田道路の整備効果（観光）

◆医療活動の支援

大野竹田道路の整備により、大分市等の医療施設への選択肢が増加し、小児科や産婦人科が少ない竹田直入地域の医療サービス水準の向上に寄与するとともに、走行性の向上、搬送時間の短縮などにより、大分市に依存する救急医療活動を支援する。

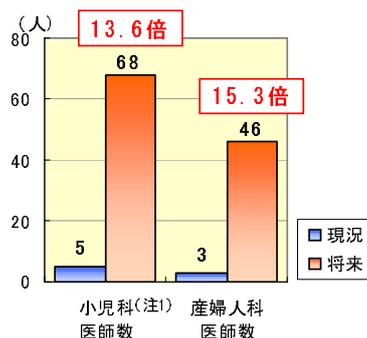
■ 二次医療圏別人口1万人当りの医師数



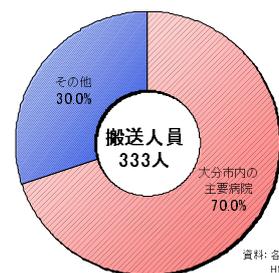
(資料：国勢調査、H14大分県公衆衛生年鑑)

注1) 竹田医師会病院に、H16.6から派遣される小児科医師1名を加えて算出している。

■ 40分圏の拡大による小児産婦人科医師数の増加（竹田市）



■ 竹田広域消防署管内からの管外搬送先病院



資料：各消防署データ H13(17年)

※竹田広域消防署の管轄
竹田市、緒方町、朝地町、荻町、久住町、直入町

【事業の整備効果】

○拠点都市間相互の連携が向上する

拠点都市相互の連絡性向上	: 1.8 (万人/km)
--------------	---------------

【算出方法】

■拠点都市相互の連絡性向上

対象道路の整備による時間短縮効果を対象都市の規模や距離で重み付けして算出する

$$\text{拠点都市相互の連絡性向上} = \sum \left\{ \frac{A\text{生活圏人口} \times B\text{生活圏人口}}{\text{拠点都市A B間の距離}} \times \frac{\text{対象道路延長}}{\text{拠点都市A B間の距離}} \times \text{時間短縮率} \right\}$$

生活圏	連絡性向上
大分-竹田・直入	0.32
大分-阿蘇	0.20
大分-熊本	1.00
別府-竹田・直入	0.06
別府-阿蘇	0.02
別府-熊本	0.17
合計	1.78

(単位:万人/km)

○地域資源の活用／観光を支援する

観光産業の促進	: 14,797 (分・万人/年)
---------	-------------------

【算出方法】

広域交通拠点（新幹線駅、高速道路IC、空港）へのアクセス時間短縮効果を観光入込み客数で重み付けして算出する

$$\text{観光産業の促進} = \sum (\text{所要時間(整備なし)} - \text{所要時間(整備あり)}) \times \text{年間観光入込み客数}$$

※所要時間は、近隣の高速道路ICまでの所要時間

市町村名	観光産業の促進
竹田市	7,079.9
緒方町	2,558.1
朝地町	3,658.5
大野町	260.8
荻町	1,239.9
合計	14,797.2

(単位:分・万人/年)

○工業製品／農林水産品の流通の利便性が向上する

工業製品の流通の利便性	: 413.8 (億円/年)
-------------	----------------

農林水産品の流通の利便性	: 166.8 (億円/年)
--------------	----------------

【算出方法】

広域交通拠点（新幹線駅、高速道路IC、空港）へのアクセス時間短縮率を工業製造品出荷額や農林水産品出荷額で重み付けして算出する

$$\text{流通の利便性} = \sum \left\{ 1 - \frac{\text{所要時間(整備あり)}}{\text{所要時間(整備なし)}} \right\} \times \frac{\text{工業製造品出荷額}}{\text{農林水産品出荷額}}$$

※所要時間は、近隣の高速道路ICまでの所要時間

市町村名	工業製品の流通の利便性	農林水産品の流通の利便性
竹田市	367.9	65.3
緒方町	5.4	20.3
朝地町	3.0	12.2
大野町	25.5	31.0
荻町	12.1	37.9
合計	413.8	166.8

(億円/年)

○費用便益分析の結果

[残事業]

便益	走行時間短縮便益 (億円)	走行経費減少便益 (億円)	交通事故減少便益 (億円)	合計
	300	37	40	377
費用	事業費		維持管理費	合計
	197		33	230
B/C				1.6

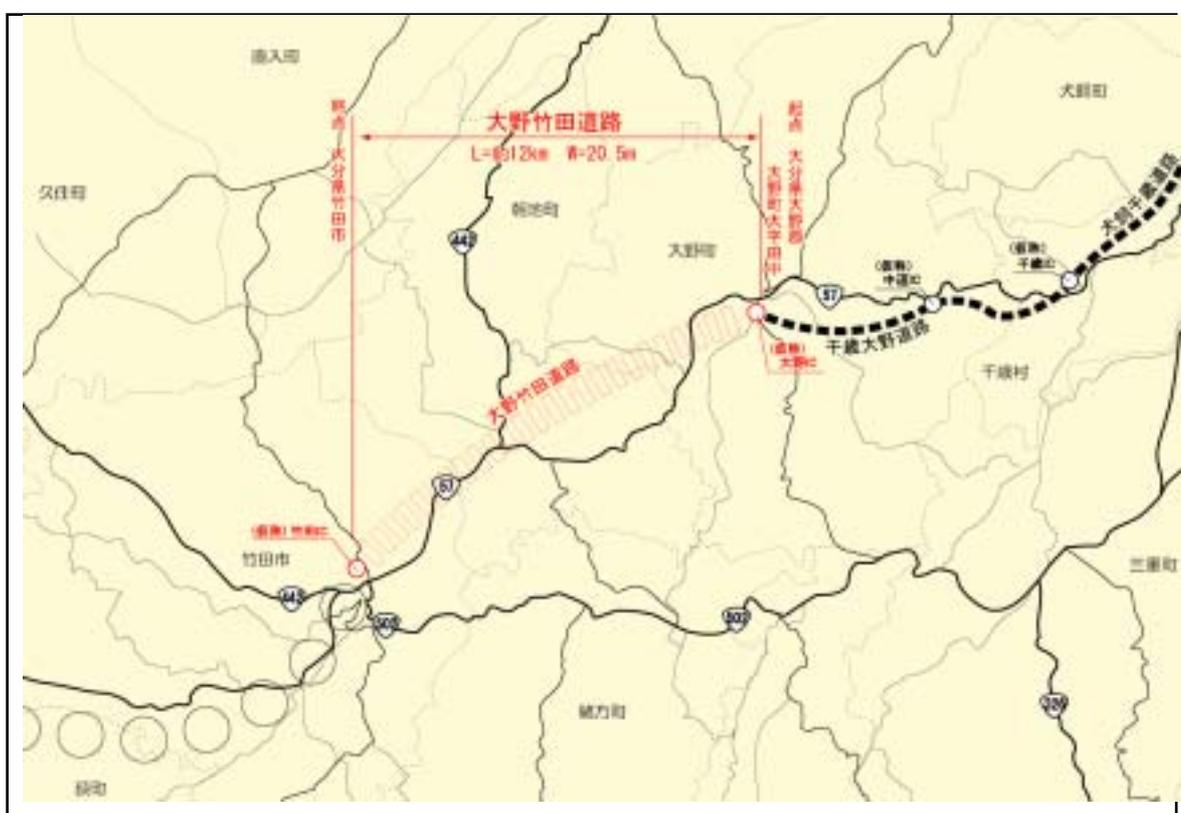
[全事業]

便益	走行時間短縮便益 (億円)	走行経費減少便益 (億円)	交通事故減少便益 (億円)	合計
	300	37	40	377
費用	事業費		維持管理費	合計
	200		33	233
B/C				1.6

【事業の進捗状況】

(1) 事業の経緯

年度	大野竹田道路	関連事業
H 7	調査区間指定	
H 1 0	ルート承認	
H 1 1	整備区間指定	環境影響評価法施行
H 1 2	着工準備	大分県版レッドデータブックの発刊
H 1 4	猛禽類事前調査	
H 1 5	環境影響評価方法書作成 方法書の公告縦覧	
H 1 6	項目・手法の決定、 環境影響評価(現地調査)の実施	



■大野竹田道路位置図

(2) 事業進捗状況(執行済額)

	全体事業費	H15 年度末進捗	進捗率
全体事業費	331億円	2億円	1%
うち用地補償費	21億円	—	—

3. 事業の進捗の見込み

(1) 今後の事業の見通し

平成16年度は、環境影響評価方法書に対する意見を踏まえ、調査項目・手法の決定及び現地調査を行っている。

今後も環境影響評価の実施を行うなど、事業を引き続き推進する。

(2) 地域の協力体制、新聞記事

・期成会

名 称	主な構成メンバー	活 動 内 容
豊肥・地域高規格道路建設促進期成会	会長 朝地町長 副会長 大分市長 竹田市長 荻町長 理事 野津町長 三重町長 清川村長 緒方町長 大野町長 千歳村長 犬飼町長 久住町長 直入町長 他	・中九州横断道路の早期完成について、国土交通省及び関係機関に要望活動を行っている。 ・要望経緯 本省 :16回 地整 :9回
中九州・地域高規格道路促進期成会	会長 阿蘇町長 理事 大分市長 野津町長 三重町長 清川村長 緒方町長 大野町長 犬飼町長 久住町長 直入町長 菊地市、大津町等の 議会議長 熊本、大分の県議会議員 他	・中九州横断道路の早期完成について、国土交通省及び関係機関に要望活動を行っている。 ・要望経緯 本省 :17回 地整 :7回

・地域の状況

名 称	主な構成メンバー	活 動 内 容
「中九州横断道路」早期完成を願う女性の会	会長 堀 幸子 会員数 約80名	・要望経緯 本省 :2回 地整 :1回
おおの女性の会	会長 角田 朝子 会員数 約50名	

中九州横断道路の早期完成を要望

建設中の中九州横断道路沿線の竹田市や大野直入両郡に住む女性でつくる「中九州横断道路早期完成を願う女性の会」は十六日、福岡市の国土交通省九州地方整備局を訪れて、渡辺茂樹局長に早期完成を要望した。

会員七人のほか県関係

着や和田幸誠、佐々木哲也両県議らが訪問。会長は堀幸子さん(竹田市)らは一子もたちが暮らしやすい町にするためにも中九州横断道路は必要。県内の大野・竹田間の早期着工、竹田・荻間の早期調査に取り組んでほしい」と要望。渡辺局長も事業促進に前向きな姿勢を示した。

中九州横断道路(総延長約百二十キロ)は、大分市と熊本市を結ぶ高規格道路。県内の大野・大野間で建設工事が進んでいる。また、大野・竹田間は整備区間、竹田・荻間は調査区間の指定を受けている。

大分合同新聞(朝刊)平成15年12月18日15面

道づくりに女性の視点 「考えるつどい」に150人参加



県内10団体などが参加して意見交換＝県庁

「おおいの道づくりを考える女性のつどい」が七日、大分県庁であった。道路整備の在り方について、女性の視点から考え、県内の各団体の代表者が一堂に会して、思いをぶつけ合おう、というミニークな試み。

県内の十団体と、宮崎県の四団体から約百五十人が出席。初めに自民党

道路調査会の古賀誠会長を誘った。往復六時間か

が「女性の声か」を「つどい」でつとめて意見を述べてをひらいた。その一環として、女性からの「国」は開陳演。古賀会長は国の利便性のたにたあること道路政策について「開陳」を述べた。つどいのか。今た上で、「道路整備は地域の将来を明るくするため大切な投資。道路はな必要なのか、女性の立場から声を上げてほしい」と呼び掛けた。

続いて、各団体の代表と古賀会長、国土交通省の佐藤信秋技監、広瀬知事が意見交換。女性代表は「観光客がたさんあるのに案内標識が少な

く迷う人多い」「郡部では道が狭く、病院も遠いので、患者が生命の危険にさらされることもし、閉会した。

中九州横断道路早期完成を

竹田で女性が集い「中九州横断道路早期完成を願う女性の会」(堀幸子代表)は、竹田市の竹田商工会館で、佐藤信秋国土交通省道路局長を招いて「女性フォーラム」を催した。沿線地域の女性ら約百人が参加。県選出の衛藤征士郎衆院議員、仲道俊哉参院議員も出席。堀代表らが中九州横断道路の必要性をアピールした後、佐藤局長と意見交換。参加女性らが「新鮮な野菜などを運ぶのに必要」を示した。

「道路が整備されれば、病気の子どもを大分市などの病院にスムーズに搬送できる」など、女性の立場から早期完成を要望した。

佐藤局長は「希望に沿うように頑張りたい」と述べ、調査区間の指定を受けている竹田・荻間について、国や県、地元による協議会を設置してルート策定を目指す意向を示した。

大分合同新聞(朝刊)平成16年3月10日18面

大分合同新聞(朝刊)平成16年8月8日3面

ぐっと近づく 子ども健康

竹田直入の「空白区」やごとく解消へ

小児科医がいなかった竹田市と直入郡三町(竹田直入保健医療圏)に、来年度から大分医科大学が常駐の小児科医を派遣する。竹田市の竹田医師会病院で常時、小児科診療が行われるのは来年六月からだ。今年十月からは準備期間として毎週水曜日の午後、限って診察する。全国的にもまれな小児科医の「空白区」だった竹田直入地域の悩みがようやく解消される。

医師派遣協定の調印式は十八日、竹田市役所である。大分医科大小児科の泉達郎教授と、直入郡竹田市医師会の加藤暢士会長が調印。知事や県医師会長、竹田市長が立ち会った。

来年六月以降の小児科医の勤務は、月曜日から土曜日の午前九時から午後六時まで。今年十月から来年五月までの準備期間は、毎週水曜日の午後二時から同六時まで。細則は今後、県、県医師会、竹田市などが協議して定める。外来診察のほか、予防接種や乳幼児精密健康診査委託医療機関として各種検診も行う。

同医療圏は、小児科医

大分医大が小児科医派遣



小児科医が派遣される竹田市坪田原の竹田医師会病院

がない状態が十年連続しており、子育てをする保護者らにとって小児科医の常駐は念願だった。

小児救急医療体制の整備と大分医大の協力で、小児科医を確保する道筋が、大分市内の医療機関で受けられる環境整備を進める上で、小児医療は大きな課題。地元の熱意が、大分市と別府市(二千人)と別府市(二千人)に集中している。不足しているのは竹田直入のほか、東国東(一人)、臼津、大野、宇佐高田(各四人)など。都市部と地方の格差は大きい。

国が定める全国二百六十の第二次医療圏(保健医療圏)のうち、小児科医が不在なのは竹田直入と次城、銚田の二医療圏のみ。銚田医療圏は、近く市町村合併で解消されることになっている。

来年6月からは常駐に

県内の常勤小児科医は百三十三人。県内十の保健医療圏(第二次)にみると、約七割が大分(六十四人)と別府(二千人)に集中している。不足しているのは竹田直入のほか、東国東(一人)、臼津、大野、宇佐高田(各四人)など。都市部と地方の格差は大きい。

国が定める全国二百六十の第二次医療圏(保健医療圏)のうち、小児科医が不在なのは竹田直入と次城、銚田の二医療圏のみ。銚田医療圏は、近く市町村合併で解消されることになっている。

4. コスト縮減や代替案立案等の可能性

(1) コスト縮減の対応

事業実施に当たっては、新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策により、着実なコスト縮減を図るとともに、事業の時間的コストの低減に向け、計画的・重点的な整備により効率性の向上を図る。

(具体的な取組状況)

- ・ 平面及び縦断線形の見直しによる構造物延長の縮小
- ・ ローコストICの採用（トランペット型ICからダイヤモンド平面Y型ICへ）
- ・ 交差道路の統廃合による横断構造物の集約

(2) 代替案の可能性

大野竹田道路は、当該地域の地形条件、周辺地域からの利便性、地域計画開発等周辺土地利用との整合ならびに環境への影響など総合的な検討を行い、本計画ルートで事業が進められており、代替案の可能性はなく、今後も環境影響評価の実施を行うなど事業を引き続き推進する。

5. 対応方針（原案）

〔事業継続〕

一般国道57号中九州横断道路の大野竹田道路については、事業を継続する。

大野竹田道路は、中九州横断道路の一区間を形成し、交通利便性の向上、地域間の連携・交流を支援し、沿線地域の産業発展や地域活性化に寄与するとともに、当該道路と平行する一般国道57号の代替機能も有している。

また、本事業の推進にあたっては、竹田市をはじめとする周辺の自治体などから、積極的な整備促進の要望がなされている。

このため、環境影響評価の手続きを促進し、早期に本格的な着手ができるよう、事業を継続する。

卷 末 資 料

(客觀的評估指標)

客観的評価指標（2／3）

- ※ データ上の制約がない限り、基本的に全ての項目について評価を実施するものとする。
ただし、評価に必要な作業量が大きく、当該事業による効果は少ないことが予想される場合、
評価実施主体が当該事業について評価対象外とすべきと判断した項目については、評価を
実施しなくてもよいものとする。
- ※ 網掛けの指標は定量的な記述により効果の確認を行うことを基本とする。
- ※ その他の指標は定性的に効果の有無を確認する。
- ※ 本指標に基づき効果を総合的に評価する必要がある。その手法については今後策定する。

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		一般国道 (二次改築)	一般国道 (一次改築)	都道府県道・市町村道	街路	
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている ・ B/C=1.6				
	事業実施環境 (新規事業 採択時)	□ ルート確定済			□ 都市計画決定済	
		□ 円滑な事業執行の環境が整っている				
	事業実施環境 (新規着工 準備採択時)	□ 都市計画手続等、環境影響評価の手続等の着手に必要な調査が完了している				
事業の性格				□ 以下のいずれかに該当する ・ 国の直轄事業に関連する事業 ・ 国家的な事業に関連する事業 ・ 先導的な施策に係る事業 ・ 短期間に集中的に施行する必要がある事業		
		□ 市町村道事業については、ネットワーク関連や市町村合併など特別な観点で行う事業である				

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		一般国道 (二次改築)	一般国道 (一次改築)	都道府県道・市町村道	街路	
大項目	中項目					
1. 活力	円滑な モビリティの 確保	■ 現道等の年間所要乗車時間（人・時間）及び削減率 法原線全時間：11.3 万人・時間/年（国道改築：大野～竹田） 休養橋架設削減率：100 割合削減（国道切符：大野～竹田）				
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される				
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が1,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される				
		□ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する				
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる				
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる ・ 大分空港、熊本空港へのアクセス向上が見込まれる					
	物流効率化 の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる ・ 国際コンテナ航路を有する大分港へのアクセス向上が見込まれる（竹田市から大分港 83分→55分）				
■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる ・ 大野・竹田直入地域は、農業を主体とした地域で、特に竹田市のもやしは九州第1位、竹田市のキャベツが茨町のトマトなどは県内第1位の出荷額であり、これら農産品の輸送において高速輸送サービスが可能となる						
都市の再生	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくは150規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する					
	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である					
	□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する			
	□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり			
□ 中心市街地内で行う事業である				□ 中心市街地内で行う事業である		

政策目標		一般国道 (二次改築)	一般国道 (一次改築)	都道府県道・市町村道	街路	
大項目	中項目					
1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である		
		<input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		<input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる		
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけあり				
		■ 地域高規格道路の位置づけあり ・中九州横断道路の一部区間として、平成1年に整備計画区間に指定されている				
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A'路線としての位置づけがある場合に限る)				
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する ・生活中心都市である大分市、竹田市を連絡するルートである(大分市から竹田市 79分→51分)				
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する				
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する				
		■ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる ・朝地町から竹田市へのアクセスが向上する(朝地町から竹田市 6分→5分)				
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する					
	■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する ・地域の特性を生かした地域開発構想である大野川流域リバーポリスを支援する					
	■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される ・阿蘇、別府などの主要観光地をネットワークする					
				<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である		
	<input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である					
				<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である		
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/2h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる				
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される				
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り				
<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する						
安全で安心できるくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる ・第三次救急医療施設であるアルメイダ病院(大分市)へのアクセス向上が見込まれる(竹田市からアルメイダ病院 67分→40分、朝地町からアルメイダ病院 6分→39分)		<input type="checkbox"/> 二次医療施設へのアクセス向上が見込まれる			

政策目標		一般国道 (二次改築)	一般国道 (一次改築)	都道府県道・市町村道	街路	
大項目	中項目					
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる				
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/2h以上（当該区間が通学路である場合は500台/2h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される				
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する				
		<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり ・国道57号はH8年大分県緊急輸送道路ネットワーク計画（一次ネットワーク）の位置づけあり				
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する ・代替する緊急輸送道路路線名：国道57号（一次ネットワーク）、代替する区間：朝地町～竹田市				
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）				
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される ・国道57号には防災点検要対策箇所が45箇所あり、大野竹田道路の整備により信頼性の高い道路ネットワークが確保される				
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する				
					<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
					<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
				<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす		
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 ・3,431tを排出削減				
	生活環境の改善・保全	<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率				
		<input type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率				
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある				
	<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される					
5. その他	他のプロジェクトとの関係			<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている		
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり				
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている				
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される				

費用便益分析の結果				様式-2
路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道57号	大野竹田道路	L = 12.7 Km	二次改築	BP
計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体		
16,800~19,200	4	九州整備局		
① 費用				
	改築費	維持修繕費	合計	
基準年	平成16年度			
単純合計	331億円	131億円	462億円	
うち残事業分	328億円	131億円	459億円	
基準年における 現在価値 (C)	200億円	33億円	233億円	
うち残事業分	197億円	33億円	230億円	

② 便 益				
	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成16年度			
供 用 年	平成44年度			
単年便益 (初年便益)	27億円	4億円	4億円	36億円
基準年における 現在価値 (B)	300億円	37億円	40億円	377億円
うち残事業分	300億円	37億円	40億円	377億円
③ 結 果				
費用便益比 (事業全体)	1.6			
費用便益比 (残事業)	1.6			
注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。				

費用の現在価値算定表				様式-4		
				維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)		
箇所名: 一般国道57号 大野竹田道路(全事業)				採用単価の根拠 高速道路		
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
				0.27	12.7	3.43
年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単価	現在価値	単価	現在価値
-22年目	H 12	1.1699	0.16	0.19	0.00	0.00
-21年目	H 13	1.1249	0.47	0.53	0.00	0.00
-20年目	H 14	1.0816	0.57	0.62	0.00	0.00
-19年目	H 15	1.0400	0.67	0.70	0.00	0.00
-18年目	H 16	1.0000	0.64	0.64	0.00	0.00
-17年目	H 17	0.9615	2.64	2.54	0.00	0.00
-16年目	H 18	0.9246	3.97	3.67	0.00	0.00
-15年目	H 19	0.8890	3.97	3.53	0.00	0.00
-14年目	H 20	0.8548	7.93	6.78	0.00	0.00
-13年目	H 21	0.8219	11.90	9.78	0.00	0.00
-12年目	H 22	0.7903	13.22	10.45	0.00	0.00
-11年目	H 23	0.7599	15.87	12.06	0.00	0.00
-10年目	H 24	0.7307	18.51	13.53	0.00	0.00
-9年目	H 25	0.7026	19.83	13.93	0.00	0.00
-8年目	H 26	0.6756	23.80	16.08	0.00	0.00
-7年目	H 27	0.6496	25.12	16.32	0.00	0.00
-6年目	H 28	0.6246	26.44	16.52	0.00	0.00
-5年目	H 29	0.6006	23.80	14.29	0.00	0.00
-4年目	H 30	0.5775	21.16	12.22	0.00	0.00
-3年目	H 31	0.5553	18.51	10.28	0.00	0.00
-2年目	H 32	0.5339	13.22	7.06	0.00	0.00
-1年目	H 33	0.5134	10.42	5.35	0.00	0.00
暫定供用開始年次	H 34	0.4936	0.00	0.00	3.27	1.61
1年目	H 35	0.4746	0.00	0.00	3.27	1.55
2年目	H 36	0.4564	0.00	0.00	3.27	1.49
3年目	H 37	0.4388	0.00	0.00	3.27	1.43
4年目	H 38	0.4220	0.00	0.00	3.27	1.38
5年目	H 39	0.4057	0.00	0.00	3.27	1.33
6年目	H 40	0.3901	16.99	6.63	3.27	1.28
7年目	H 41	0.3751	16.99	6.37	3.27	1.23
8年目	H 42	0.3607	16.99	6.13	3.27	1.18
9年目	H 43	0.3468	16.99	5.89	3.27	1.13
完成供用開始年次	H 44	0.3335	0.00	0.00	3.27	1.09
11年目	H 45	0.3207	0.00	0.00	3.27	1.05
12年目	H 46	0.3083	0.00	0.00	3.27	1.01
13年目	H 47	0.2965	0.00	0.00	3.27	0.97
14年目	H 48	0.2851	0.00	0.00	3.27	0.93
15年目	H 49	0.2741	0.00	0.00	3.27	0.90
16年目	H 50	0.2636	0.00	0.00	3.27	0.86
17年目	H 51	0.2534	0.00	0.00	3.27	0.83
18年目	H 52	0.2437	0.00	0.00	3.27	0.80
19年目	H 53	0.2343	0.00	0.00	3.27	0.77
20年目	H 54	0.2253	0.00	0.00	3.27	0.74
21年目	H 55	0.2166	0.00	0.00	3.27	0.71
22年目	H 56	0.2083	0.00	0.00	3.27	0.68
23年目	H 57	0.2003	0.00	0.00	3.27	0.65
24年目	H 58	0.1926	0.00	0.00	3.27	0.63
25年目	H 59	0.1852	0.00	0.00	3.27	0.61
26年目	H 60	0.1780	0.00	0.00	3.27	0.58
27年目	H 61	0.1712	0.00	0.00	3.27	0.56
28年目	H 62	0.1646	0.00	0.00	3.27	0.54
29年目	H 63	0.1583	0.00	0.00	3.27	0.52
30年目	H 64	0.1522	0.00	0.00	3.27	0.50
31年目	H 65	0.1463	0.00	0.00	3.27	0.48
32年目	H 66	0.1407	0.00	0.00	3.27	0.46
33年目	H 67	0.1353	0.00	0.00	3.27	0.44
34年目	H 68	0.1301	0.00	0.00	3.27	0.43
35年目	H 69	0.1251	0.00	0.00	3.27	0.41
36年目	H 70	0.1203	0.00	0.00	3.27	0.39
37年目	H 71	0.1157	0.00	0.00	3.27	0.38
38年目	H 72	0.1112	0.00	0.00	3.27	0.36
39年目	H 73	0.1069	-20.81	-2.22	3.27	0.35
合計			309.98	199.87	130.80	33.24
単純事業費計			330.79		130.80	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表		箇所名：一般国道67号 大野竹田道路(全事業)										合 計							
年度 (基準年) H16	年次 H16	総走行台車の年次引伸び率 (北九州70%)		割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)		現在価値 (1)×(A)		走行経費減少便益(億円)		現在価値 (A)×(2)	事故減少便益(億円) (3)×(A)	便益合計 (1)~(3)	現在価値 (億円)					
		乗用車	貨物車		全 車	バス	小型貨物	普通貨物	バス	小型貨物					普通貨物	② 計	③		
	新定歩用開始年次	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	1.00004	0.4936	14.91	2.10	6.31	4.13	27.45	13.55	4.34	3.86	1.91	35.65	17.60	
	1年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.4746	14.93	2.10	6.28	4.11	27.42	13.01	4.33	3.86	1.83	3.86	1.83	35.61	16.90
	2年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4564	14.95	2.10	6.25	4.09	27.39	12.50	4.32	3.86	1.76	3.86	1.76	35.57	16.23
	3年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4388	14.97	2.10	6.22	4.07	27.36	12.01	4.31	3.86	1.69	3.86	1.69	35.53	15.59
	4年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4220	14.99	2.10	6.19	4.05	27.33	11.53	4.30	3.86	1.63	3.86	1.63	35.49	14.97
	5年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4057	15.01	2.10	6.16	4.03	27.30	11.08	4.29	3.86	1.57	3.86	1.57	35.45	14.39
	6年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.3901	15.03	2.10	6.13	4.01	27.27	10.64	4.28	3.86	1.51	3.86	1.51	35.41	13.82
	7年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.3751	15.05	2.10	6.10	3.99	27.24	10.22	4.27	3.86	1.45	3.86	1.45	35.37	13.27
	8年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3607	15.07	2.10	6.07	3.97	27.21	9.81	4.26	3.86	1.39	3.86	1.39	35.33	12.74
	9年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3468	15.02	2.09	6.04	3.95	27.10	9.40	4.24	3.85	1.34	3.85	1.34	35.19	12.21
	10年目	H 44	1.00740	0.99864	1.00497	0.3335	17.33	2.30	6.99	4.55	31.17	10.40	3.31	3.91	1.30	3.91	1.30	38.38	12.80
	11年目	H 45	1.00735	0.99864	1.00494	0.3207	17.46	2.32	6.98	4.54	31.30	10.04	3.31	3.93	1.26	3.93	1.26	38.54	12.36
	12年目	H 46	1.00729	0.99864	1.00492	0.3083	17.59	2.34	6.97	4.53	31.43	9.69	3.29	3.95	1.22	3.95	1.22	38.70	11.93
	13年目	H 47	1.00157	0.99595	1.00004	0.2965	17.72	2.36	6.96	4.52	31.56	9.36	3.33	3.97	1.18	3.97	1.18	38.86	11.53
	14年目	H 48	1.00157	0.99594	1.00004	0.2851	17.75	2.36	6.93	4.50	31.54	8.99	3.32	3.97	1.13	3.97	1.13	38.83	11.07
	15年目	H 49	1.00156	0.99592	1.00004	0.2741	17.78	2.36	6.90	4.48	31.52	8.64	3.31	3.97	1.09	3.97	1.09	38.80	10.64
	16年目	H 50	1.00156	0.99590	1.00004	0.2636	17.81	2.36	6.87	4.46	31.50	8.30	3.30	3.97	1.05	3.97	1.05	38.77	10.22
	17年目	H 51	1.00156	0.99589	1.00004	0.2534	17.84	2.36	6.84	4.44	31.48	7.98	3.29	3.97	1.01	3.97	1.01	38.74	9.82
	18年目	H 52	1.00156	0.99587	1.00004	0.2437	17.87	2.36	6.81	4.42	31.46	7.67	3.28	3.97	0.97	3.97	0.97	38.71	9.44
	19年目	H 53	1.00156	0.99585	1.00004	0.2343	17.90	2.36	6.78	4.40	31.44	7.37	3.27	3.97	0.93	3.97	0.93	38.68	9.07
	20年目	H 54	1.00155	0.99584	1.00004	0.2253	17.93	2.36	6.75	4.38	31.42	7.08	3.26	3.97	0.89	3.97	0.89	38.65	8.70
	21年目	H 55	1.00155	0.99582	1.00004	0.2166	17.96	2.36	6.72	4.36	31.40	6.80	3.25	3.97	0.86	3.97	0.86	38.62	8.36
	22年目	H 56	1.00155	0.99580	1.00004	0.2083	17.99	2.36	6.69	4.34	31.38	6.54	3.24	3.97	0.83	3.97	0.83	38.59	8.04
	23年目	H 57	0.99690	0.99472	0.99633	0.2003	18.02	2.36	6.66	4.32	31.36	6.28	3.23	3.97	0.80	3.97	0.80	38.56	7.73
	24年目	H 58	0.99689	0.99469	0.99632	0.1926	17.96	2.35	6.62	4.30	31.23	6.01	3.22	3.96	0.76	3.96	0.76	38.41	7.39
	25年目	H 59	0.99688	0.99467	0.99630	0.1852	17.90	2.34	6.58	4.28	31.10	5.76	3.21	3.95	0.73	3.95	0.73	38.26	7.08
	26年目	H 60	0.99687	0.99464	0.99629	0.1780	17.84	2.33	6.54	4.26	30.97	5.51	3.20	3.94	0.70	3.94	0.70	38.11	6.78
	27年目	H 61	0.99686	0.99461	0.99628	0.1712	17.78	2.32	6.50	4.24	30.84	5.28	3.19	3.93	0.67	3.93	0.67	37.96	6.50
	28年目	H 62	0.99685	0.99458	0.99626	0.1646	17.72	2.31	6.46	4.22	30.71	5.05	3.18	3.92	0.65	3.92	0.65	37.81	6.22
	29年目	H 63	0.99684	0.99455	0.99625	0.1583	17.66	2.30	6.42	4.20	30.58	4.84	3.17	3.91	0.62	3.91	0.62	37.66	5.96
	30年目	H 64	0.99683	0.99452	0.99623	0.1522	17.60	2.29	6.39	4.18	30.46	4.64	3.16	3.90	0.59	3.90	0.59	37.52	5.71
	31年目	H 65	0.99682	0.99449	0.99622	0.1463	17.54	2.28	6.35	4.16	30.33	4.44	3.15	3.89	0.57	3.89	0.57	37.37	5.47
	32年目	H 66	0.99681	0.99446	0.99621	0.1407	17.48	2.27	6.32	4.14	30.21	4.25	3.14	3.88	0.55	3.88	0.55	37.23	5.24
	33年目	H 67	0.99634	0.99695	0.99650	0.1353	17.42	2.26	6.28	4.12	30.08	4.07	3.13	3.87	0.52	3.87	0.52	37.08	5.01
	34年目	H 68	0.99632	0.99695	0.99648	0.1301	17.36	2.25	6.26	4.11	29.98	3.90	3.12	3.86	0.50	3.86	0.50	36.96	4.81
	35年目	H 69	0.99631	0.99694	0.99647	0.1251	17.30	2.24	6.24	4.10	29.88	3.74	3.11	3.85	0.48	3.85	0.48	36.84	4.61
	36年目	H 70	0.99630	0.99693	0.99646	0.1203	17.24	2.23	6.22	4.09	29.78	3.58	3.10	3.84	0.46	3.84	0.46	36.72	4.41
	37年目	H 71	1.00000	1.00000	1.00000	0.1157	17.18	2.22	6.20	4.08	29.68	3.43	3.09	3.83	0.44	3.83	0.44	36.60	4.23
	38年目	H 72	1.00000	1.00000	1.00000	0.1112	17.18	2.22	6.20	4.08	29.68	3.30	3.09	3.83	0.43	3.83	0.43	36.60	4.07
	39年目	H 73	1.00000	1.00000	1.00000	0.1069	17.18	2.22	6.20	4.08	29.68	3.17	3.09	3.83	0.41	3.83	0.41	36.60	3.91
	合 計					676.22	90.34	259.38	169.28	1,982.22	299.86	37.29	156.24	39.68	1,493.76	376.83			

費用の現在価値算定表				様式-4			
				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 一般国道57号 大野竹田道路(残事業分)				採用単価の根拠: 高速道路			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.27	12.7	3.43	
年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)		
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	
-22年目	H 12	1.1699	0.00	0.00	0.00	0.00	
-21年目	H 13	1.1249	0.00	0.00	0.00	0.00	
-20年目	H 14	1.0816	0.00	0.00	0.00	0.00	
-19年目	H 15	1.0400	0.00	0.00	0.00	0.00	
-18年目	H 16	1.0000	0.00	0.00	0.00	0.00	
-17年目	H 17	0.9615	2.64	2.54	0.00	0.00	
-16年目	H 18	0.9246	3.97	3.67	0.00	0.00	
-15年目	H 19	0.8890	3.97	3.53	0.00	0.00	
-14年目	H 20	0.8548	7.93	6.78	0.00	0.00	
-13年目	H 21	0.8219	11.90	9.78	0.00	0.00	
-12年目	H 22	0.7903	13.22	10.45	0.00	0.00	
-11年目	H 23	0.7599	15.87	12.06	0.00	0.00	
-10年目	H 24	0.7307	18.51	13.53	0.00	0.00	
-9年目	H 25	0.7026	19.83	13.93	0.00	0.00	
-8年目	H 26	0.6756	23.80	16.08	0.00	0.00	
-7年目	H 27	0.6496	25.12	16.32	0.00	0.00	
-6年目	H 28	0.6246	26.44	16.52	0.00	0.00	
-5年目	H 29	0.6006	23.80	14.29	0.00	0.00	
-4年目	H 30	0.5775	21.16	12.22	0.00	0.00	
-3年目	H 31	0.5553	18.51	10.28	0.00	0.00	
-2年目	H 32	0.5339	13.22	7.06	0.00	0.00	
-1年目	H 33	0.5134	10.42	5.35	0.00	0.00	
暫定供用開始年次	H 34	0.4936	0.00	0.00	3.27	1.61	
1年目	H 35	0.4746	0.00	0.00	3.27	1.55	
2年目	H 36	0.4564	0.00	0.00	3.27	1.49	
3年目	H 37	0.4388	0.00	0.00	3.27	1.43	
4年目	H 38	0.4220	0.00	0.00	3.27	1.38	
5年目	H 39	0.4057	0.00	0.00	3.27	1.33	
6年目	H 40	0.3901	16.99	6.63	3.27	1.28	
7年目	H 41	0.3751	16.99	6.37	3.27	1.23	
8年目	H 42	0.3607	16.99	6.13	3.27	1.18	
9年目	H 43	0.3468	16.99	5.89	3.27	1.13	
完成供用開始年次	H 44	0.3335	0.00	0.00	3.27	1.09	
11年目	H 45	0.3207	0.00	0.00	3.27	1.05	
12年目	H 46	0.3083	0.00	0.00	3.27	1.01	
13年目	H 47	0.2965	0.00	0.00	3.27	0.97	
14年目	H 48	0.2851	0.00	0.00	3.27	0.93	
15年目	H 49	0.2741	0.00	0.00	3.27	0.90	
16年目	H 50	0.2636	0.00	0.00	3.27	0.86	
17年目	H 51	0.2534	0.00	0.00	3.27	0.83	
18年目	H 52	0.2437	0.00	0.00	3.27	0.80	
19年目	H 53	0.2343	0.00	0.00	3.27	0.77	
20年目	H 54	0.2253	0.00	0.00	3.27	0.74	
21年目	H 55	0.2166	0.00	0.00	3.27	0.71	
22年目	H 56	0.2083	0.00	0.00	3.27	0.68	
23年目	H 57	0.2003	0.00	0.00	3.27	0.65	
24年目	H 58	0.1926	0.00	0.00	3.27	0.63	
25年目	H 59	0.1852	0.00	0.00	3.27	0.61	
26年目	H 60	0.1780	0.00	0.00	3.27	0.58	
27年目	H 61	0.1712	0.00	0.00	3.27	0.56	
28年目	H 62	0.1646	0.00	0.00	3.27	0.54	
29年目	H 63	0.1583	0.00	0.00	3.27	0.52	
30年目	H 64	0.1522	0.00	0.00	3.27	0.50	
31年目	H 65	0.1463	0.00	0.00	3.27	0.48	
32年目	H 66	0.1407	0.00	0.00	3.27	0.46	
33年目	H 67	0.1353	0.00	0.00	3.27	0.44	
34年目	H 68	0.1301	0.00	0.00	3.27	0.43	
35年目	H 69	0.1251	0.00	0.00	3.27	0.41	
36年目	H 70	0.1203	0.00	0.00	3.27	0.39	
37年目	H 71	0.1157	0.00	0.00	3.27	0.38	
38年目	H 72	0.1112	0.00	0.00	3.27	0.36	
39年目	H 73	0.1069	-20.81	-2.22	3.27	0.35	
合計			307.47	197.19	130.80	33.24	
単純事業費計			328.28		130.80		

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

年度 (基準年)		総走行台キロの年次別伸び率 (北九州70%)		割引率		箇所名：一般国道57号 大野竹田道路(残事業分)										合 計					
年次	H16 乗用車種 全車	H16 乗用車種 普通貨物	H16 乗用車種 全車	(A)	(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 (1)×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×(2)	事故減少便益(億円)	現在価値 (3)×(A)	現在価値 (1)~(3)	割引率4%
1年目	34	1.0156	0.99592	1.00004	0.4936	14.91	2.10	6.31	4.13	27.45	13.55	1.74	0.12	1.87	0.81	4.34	2.14	3.86	1.91	35.65	17.60
2年目	35	1.0156	0.99590	1.00004	0.4746	14.93	2.10	6.28	4.11	27.42	13.01	1.74	0.12	1.86	0.81	4.33	2.06	3.86	1.83	35.61	16.90
3年目	36	1.0156	0.99589	1.00004	0.4564	14.95	2.10	6.25	4.09	27.39	12.50	1.74	0.12	1.85	0.81	4.32	1.97	3.86	1.76	35.57	16.23
4年目	37	1.0156	0.99587	1.00004	0.4388	14.97	2.10	6.22	4.07	27.36	12.01	1.74	0.12	1.84	0.81	4.31	1.89	3.86	1.69	35.53	15.59
5年目	38	1.0156	0.99585	1.00004	0.4220	14.99	2.10	6.19	4.05	27.33	11.53	1.74	0.12	1.83	0.81	4.30	1.81	3.86	1.63	35.49	14.97
6年目	39	1.0155	0.99584	1.00004	0.4057	15.01	2.10	6.16	4.03	27.30	11.08	1.74	0.12	1.82	0.81	4.29	1.74	3.86	1.57	35.45	14.39
7年目	40	1.0155	0.99582	1.00004	0.3901	15.03	2.10	6.13	4.01	27.27	10.64	1.74	0.12	1.81	0.81	4.28	1.67	3.86	1.51	35.41	13.82
8年目	41	1.0155	0.99580	1.00004	0.3751	15.05	2.10	6.10	3.99	27.24	10.22	1.74	0.12	1.80	0.81	4.27	1.60	3.86	1.45	35.37	13.27
9年目	42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3607	15.07	2.10	6.07	3.97	27.21	9.81	1.74	0.12	1.59	0.81	4.26	1.54	3.86	1.39	35.33	12.74
10年目	43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3468	15.02	2.09	6.04	3.95	27.10	9.40	1.73	0.12	1.58	0.81	4.24	1.47	3.85	1.34	35.19	12.21
11年目	44	1.00740	0.99884	1.00497	0.3335	17.93	2.30	6.99	4.55	31.17	10.40	1.37	0.08	1.30	0.55	3.30	1.10	3.91	1.30	38.38	12.90
12年目	45	1.00735	0.99884	1.00494	0.3207	17.46	2.32	6.98	4.54	31.30	10.04	1.38	0.08	1.30	0.55	3.31	1.06	3.93	1.26	38.54	12.36
13年目	46	1.00729	0.99884	1.00492	0.3083	17.59	2.34	6.97	4.53	31.43	9.69	1.39	0.08	1.30	0.55	3.32	1.02	3.95	1.22	38.70	11.93
14年目	47	1.00157	0.99595	1.00004	0.2965	17.72	2.36	6.96	4.52	31.56	9.36	1.40	0.08	1.30	0.55	3.33	0.99	3.97	1.18	38.86	11.53
15年目	48	1.00157	0.99594	1.00004	0.2851	17.75	2.36	6.93	4.50	31.54	8.99	1.40	0.08	1.29	0.55	3.32	0.95	3.97	1.13	38.83	11.07
16年目	49	1.00156	0.99592	1.00004	0.2741	17.78	2.36	6.90	4.48	31.52	8.64	1.40	0.08	1.28	0.55	3.31	0.91	3.97	1.09	38.80	10.64
17年目	50	1.00156	0.99590	1.00004	0.2636	17.81	2.36	6.87	4.46	31.50	8.30	1.40	0.08	1.27	0.55	3.30	0.87	3.97	1.05	38.77	10.22
18年目	51	1.00156	0.99589	1.00004	0.2534	17.84	2.36	6.84	4.44	31.48	7.98	1.40	0.08	1.26	0.55	3.29	0.83	3.97	1.01	38.74	9.82
19年目	52	1.00156	0.99587	1.00004	0.2437	17.87	2.36	6.81	4.42	31.46	7.67	1.40	0.08	1.25	0.55	3.28	0.80	3.97	0.97	38.71	9.44
20年目	53	1.00156	0.99585	1.00004	0.2343	17.90	2.36	6.78	4.40	31.44	7.37	1.40	0.08	1.24	0.55	3.27	0.77	3.97	0.93	38.68	9.07
21年目	54	1.00155	0.99584	1.00004	0.2253	17.93	2.36	6.75	4.38	31.42	7.08	1.40	0.08	1.23	0.55	3.26	0.73	3.97	0.89	38.65	8.70
22年目	55	1.00155	0.99582	1.00004	0.2166	17.96	2.36	6.72	4.36	31.40	6.80	1.40	0.08	1.22	0.55	3.25	0.70	3.97	0.86	38.62	8.36
23年目	56	1.00155	0.99580	1.00004	0.2083	17.99	2.36	6.69	4.34	31.38	6.54	1.40	0.08	1.21	0.55	3.24	0.67	3.97	0.83	38.59	8.04
24年目	57	0.99690	0.99472	0.99633	0.2003	18.02	2.36	6.66	4.32	31.36	6.28	1.40	0.08	1.20	0.55	3.23	0.65	3.97	0.80	38.56	7.73
25年目	58	0.99689	0.99469	0.99632	0.1926	17.96	2.35	6.62	4.30	31.23	6.01	1.40	0.08	1.19	0.55	3.22	0.62	3.96	0.76	38.41	7.39
26年目	59	0.99688	0.99467	0.99630	0.1852	17.90	2.34	6.58	4.28	31.10	5.76	1.40	0.08	1.18	0.55	3.21	0.59	3.95	0.73	38.26	7.08
27年目	60	0.99687	0.99464	0.99629	0.1780	17.84	2.33	6.54	4.26	30.97	5.51	1.40	0.08	1.17	0.55	3.20	0.57	3.94	0.70	38.11	6.78
28年目	61	0.99686	0.99461	0.99628	0.1712	17.78	2.32	6.50	4.24	30.84	5.28	1.40	0.08	1.16	0.55	3.19	0.55	3.93	0.67	37.96	6.50
29年目	62	0.99685	0.99458	0.99626	0.1646	17.72	2.31	6.46	4.22	30.71	5.05	1.40	0.08	1.15	0.55	3.18	0.52	3.92	0.65	37.81	6.22
30年目	63	0.99684	0.99455	0.99625	0.1583	17.66	2.30	6.42	4.20	30.58	4.84	1.40	0.08	1.14	0.55	3.17	0.50	3.91	0.62	37.66	5.96
31年目	64	0.99683	0.99452	0.99623	0.1522	17.60	2.29	6.39	4.18	30.46	4.64	1.40	0.08	1.13	0.55	3.16	0.48	3.90	0.59	37.52	5.71
32年目	65	0.99682	0.99449	0.99622	0.1463	17.54	2.28	6.35	4.16	30.33	4.44	1.40	0.08	1.12	0.55	3.15	0.46	3.89	0.57	37.37	5.47
33年目	66	0.99681	0.99446	0.99621	0.1407	17.48	2.27	6.32	4.14	30.21	4.25	1.40	0.08	1.11	0.55	3.14	0.44	3.88	0.55	37.23	5.24
34年目	67	0.99634	0.99695	0.99650	0.1353	17.42	2.26	6.28	4.12	30.08	4.07	1.40	0.08	1.10	0.55	3.13	0.42	3.87	0.52	37.08	5.01
35年目	68	0.99632	0.99695	0.99648	0.1301	17.36	2.25	6.26	4.11	29.98	3.90	1.39	0.08	1.10	0.55	3.12	0.41	3.86	0.50	36.96	4.81
36年目	69	0.99631	0.99694	0.99647	0.1251	17.30	2.24	6.24	4.10	29.88	3.74	1.38	0.08	1.10	0.55	3.11	0.39	3.85	0.48	36.84	4.61
37年目	70	0.99630	0.99693	0.99646	0.1203	17.24	2.23	6.22	4.09	29.78	3.58	1.37	0.08	1.10	0.55	3.10	0.37	3.84	0.46	36.72	4.41
38年目	71	1.00000	1.00000	1.00000	0.1157	17.18	2.22	6.20	4.08	29.68	3.43	1.36	0.08	1.10	0.55	3.09	0.36	3.83	0.44	36.60	4.23
39年目	72	1.00000	1.00000	1.00000	0.1112	17.12	2.22	6.20	4.08	29.68	3.30	1.36	0.08	1.10	0.55	3.09	0.34	3.83	0.43	36.60	4.07
合計	73	1.00000	1.00000	1.00000	0.1069	17.18	2.22	6.20	4.08	29.68	3.17	1.36	0.08	1.10	0.55	3.09	0.33	3.83	0.41	36.60	3.91
合計						679.22	90.34	250.38	169.28	1,196.22	299.86	59.15	3.60	51.95	24.60	139.30	37.29	156.24	39.68	1,493.76	376.83

様式記入上の留意点
1. 各評価の場台、事業全体分、残事業分それぞれ作成する。